

日本共産党

東日本大震災 救援・復興

心ひとつに!

「初めてお腹いっぱいになりました」「やっと妊婦検診が受けられ、安心しました」
避難所を訪問し、企業に協力申し入れ

20日日本共産党市議団は、市の避難所を訪ね、お見舞いと要望を伺いました。流山市が提供するの、畳とお風呂と毛布だけ。あとは自前なので、被災者はカップラーメンを食べていました。病院のこと、子どもの学校のこと・・・心配は尽きません。せめて、炊事ができる場所がほしいとも。地域の介護施設と共産党後援

「救援活動の強化」を市長に緊急要請

市内には、避難所だけでなく、血縁などをたどって市民の家に避難している方も大勢おられます。ところ

ところが市の救援活動の中心は、姉妹都市相馬への支援活動です。いま、流山を頼ってきている方たちへの受け入れ態勢が不十分なのです。日本共産党は、22日朝市長の出勤を待つて市長と懇談し、相馬に職員まで収容できます。

国民的危機に直面!いま救援・復興に働いているのは誰か

市政と議会のあり方が問われています

大地震は、県下一職員が少ない流山市の行政運営のもろさを浮き彫りにしました。また、3月議会を活用し、震災対策を質疑したのは日本共産党だけでした。

わが党は延期を提起しましたが、民主・自民・公明の反対でいっせい地方選挙が予定どおり実施されることに・・・4月の選挙では、市政と議会のあり方が問われています。



市HPで紹介された「ひまわり」の炊き出し

●救援募金にご協力ください
●救援・復興に全力をつくします

日本共産党

日本共産党流山市震災対策本部

流山民報

2011年3月号外
発行 日本共産党流山市委員会
連絡先 TEL・FAX 7157-6140